

2011年7月1日
NPO法人 森を再生する会

水源の森を守ろう！ 取り戻そう！

— 目 次 —

- ・ 23年度春の植樹祭参加お礼・・・1P
- ・ 森を再生する会の精神を原点に・・・2P
- ・ 今、すべての命を大切に・・・3P
- ・ 山が好き 自然が好き・・・4P
- ・ アンケート結果・・・5P
- ・ 秋の植樹祭のお知らせ・・・6、7P
- ・ 取得した山林を水源の森に・・・8P
- ・ 全原発の廃止を・・・9P
- ・ 東日本大震災からの復興に向けて10P
- ・ 寄付をいただいた方々・・・10P



23年度春の植樹祭参加お礼

NPO 森を再生する会会長 神谷輝幸

雨の中で 今年も雨模様の植樹祭でした。でも参加者の中で不平を言う人はいませんでした。『恵みの雨だね』という言葉が返ってきます。人間中心のものの考え方が普通となつてしまった今、NPO 法人森を再生する会の植樹祭に参加する人たちは「樹木のことを中心

に考えているんだ」と嬉しくなりました。

418本植える 今年の春の植樹祭は5月22日作手の山で行い、参加者も110名と盛況でした。現地はスギ・ヒノキの放置林で昼間も暗い死んだ山です。毎月会員で間伐し、光が差し込んだ場所に、シラカシ、アラカシ、ナラなど広葉樹を植えて「命の森・水源の森」に生まれ変わらせようとする試みです。今年は418本、合計8,900本になりました。

宮脇方式 命の森は自然の森に戻すことです。生態学者で世界一多く木を植えた男宮脇昭先生が考案された方式です。その特徴は①どんぐりから育てたポット苗を使う。同じシラカシでも一本一本遺伝子が違います。根っこが健全です。②混植、蜜植します。小さな苗木を30センチほどの間隔でしかも隣同志同じ樹種を植えないことです。こうすることによって樹木は競争し、たくましく育つという自然のルールに従う植え方です。③土地本来の樹種を選択します。選んだ樹種は人間の好みで選びません。ヤマザクラ、クリなど本来その土地に育っていた木をできるだけ種類を多く植えます。

よき人々との出会い 参加者は3歳から80歳までの老若男女、団体では、矢作川病院の職員のみなさん、安城ライオンズクラブ、ヤハギ緑化株式会社など、個人では半数近くはリピーターの方でした。新人ながら安城市議会水と緑会派を立ち上げられた深津修議員も終日植樹に参加されました。こうしたよき人々の集まりのおかげか、心配された雨も植樹が終わった直後に降り出し、恵みの雨となりました。

山の幸を味わう 植樹後は、青年の家で、地元の主婦が作った五平餅、山菜おこわ、会員が作った味噌汁に舌鼓をうちました。素朴なものでも良いことをした後の食事は何よりのご馳走で疲れも吹き飛んでしまいます。

安全な日本に セレモニーの後、「原発のない自然豊かな安心して暮らせる日本を！」というメッセージに思いのある方にサインをしていただき、国会へ届けることにしました。自然を大切に生きてきたのが私たち祖先の生き方であり、日本の歴史・文化です。植樹祭にあたり、自然に寄り添って生きることこそ未来永劫人類が生き続けることが可能であることを一本の木に託す気持ちでいっぱいです。



“森を再生する会”の精神を原点に・・・

安城市議会議員（水と緑の会） 深津おさむ

去る3月11日に発生した東北関東大震災で被災された方々へ心よりお見舞いと、被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

私は、今年3月末まで明治用水土地改良区地域活動室長として西三河8市の様々な地域で「都市と農村の共生」や、小中学校での「環境教育」、矢作川流域での「上下流住民交流」などのお手伝いをさせていただきました。

碧海台地を潤す明治用水は、1世紀以上前から水源の森（約525ha）を所有・管理し、先人たちが掲げた「水をつかう者は自ら水をつくれ」を合い言葉に命の森を守り続けています。

皆様方がご活躍する「森を再生する会」の活動は、発会当初から意識的に注目をし、その精神を自らの活動の基盤としてきました。

今春、地元名士である神谷輝幸先生のご支援を賜り、自らの人生に大きな転換期を迎え、安城市議会において新会派「水と緑の会」を立ち上げたところです。

議員としての活動はスタートしたばかりですが、これまでの経験を生かし、「環境」、「水」、「農」、「食」、「歴史」などにポイントを置いた政策を軸とし、良好な市政運営を図るとともに、本会の精神が日本のスタンダードとなるような活動も展開していきたいと考えております。

おわりに、「森を再生する会」により、次世代の子どもたちが安心して暮らせる社会となり、また、この活動が未来永劫に受け継がれていくことを御祈念し「春の植樹祭」大成功のお祝いとさせていただきます。



今、すべての命を大切にしよう！

杉浦良和

先人が命を懸けて植えたスギ・ヒノキの山も手入れがされないまま山は荒れ、人々は去り、山村は限界集落と化しています。その結果、川の水の量も質も格段に落ち、海も死にかけています。



1300年代徒然草の一文に「住まいは夏を旨とすべし」とありますが、密閉された住居はオール電化により自然からずいぶん離れた方向へと突き進んでいます。こうして文化的な生活を求めるあまり人間は原子力というパンドラの箱を開けてしまい、日本は放射能汚染列島という危険きわまりない道を進んでいます。

家庭環境は確実に破壊され、無邪気な子供も苦しみ、自殺は毎年3万人を超えています。本当の家族愛や健全な地域コミュニティが崩壊しています。人間は知恵があるとおごり、自然を破壊し、その結果自己破壊に向かっています。

自然の中で他の生き物と共に生き、太陽と水と海・山・土の恵みに感謝して暮らしてきたのが私たち日本の民族です。これ以上欲張らず、人間の命だけでなく「いきとしいけるもの」のすべての命を大切にしたい生き方をしたいものです。

山が好き 自然が好き

豊橋市 長澤 勇吉

今年の森を再生する会の仕事始めは2月末でした。いつもは、寒い時期が過ぎた3月末からスタートですが、植樹祭のまぎわでばたばたしないようにとの心がけで、一ヶ月早くなりました。残雪のある冬枯れの山も好きですが、春先にかけての新緑から花が咲き始める初夏も、そして他の季節も四季おりおり色々な姿を見せてくれる山の自然が好き！

森を再生する会は毎月第4日曜日に、山の好きな10名以上のスタッフが集まって間伐作業をし、舞台づくりに励むのです。簡単な話なんです、針葉樹の山を間伐して広葉樹との混成林の山へ変換するのです。

ここで皆さんによくご存じの間伐作業の手順ガイドを！

1. どの木を切るか選択し、決まったら頂上側の他の木に絡まない方向を探し
2. ロープを木に回して高い所に位置づけ、もう片方を先に定めた方向にロープを、木の長さ以上の所の立木に固定し倒木の作業の安全を図る
3. 木の倒す側をチェーンソーで三角の切れ目を入れ、全員の配置位置確認
4. 三角の反対側にチェーンソーを入れる。七分から八分にて止め、ロープの先にて引っ張り倒したい方向にコントロールし倒木す
5. 倒木を数名にて枝払いをし、木は適当な長さで切断。横倒しにして土止め
6. 枝はひとまとめに積み上げ（女性陣 大活躍）植樹場所を一つ一つ確保

舞台が整い5月22日の植樹祭を迎えました。100名を越える参加者で大賑わい、植樹中から雨が降ってきた。昼食時は大雨でしたが、会場周辺の緑の山々を目で追いかけていると、雨も緑色に見えてくる。すっかり目の保養になりました。

今年の感動一番は、参加者が急な長い坂道を登りきり、植樹が始まる前、足場が悪いので土止めの丸太に腰かけて、下を見ながら山道を登ってきた自分で自分をほめている様子。こんな経験は滅多にあることではない。

400本の苗木を手渡しで山の上まで上げた。達成感で満足している。笑顔が忘れられません。植樹会場の山も、当初はうっそうとしていた杉・桧が間伐されて陽が当たる様になり、昨年春秋そして今年、植えた苗木が元気に根づいております。苗木だけでなく、肥沃な地面の下草が生命力を発揮し、芽吹いてきております。自然界の素晴らしさにますます、山が好き自然が好きになります。



ております。

いてきております。

自然界の素晴らしさにますます、山が好き自然が好きになります。

H 2 3 春の植樹祭アンケート結果

アンケート回答者数 54人 / 106名参加者

1. この取り組みに参加する前と比べ、森との重要性について理解が深まりましたか。

① 大変深まった 48名 ② 少し深まった 5名 ③ あり深まらなかった 1名

〔理由〕

- ・昔から人の手によって育てられてきた山が今は手が入らず自然がなくなっていく。自分でできることがあればお役に立ちたい。
- ・人は水が無ければ生きていけないから。
- ・日本の山が中国人に買い占められているらしいことを聞いた。それを防ぐことができればお役に立ちたい。
- ・斜面に木を植えることは初めての体験でしたが、水源の森が守られている様子が少しは感じられました。
- ・自分の身体を使い、現場を体験し、皆さんから学ぶことで理解が深まると感じます。
- ・都市と森と海との関係で、水は森の山から発している点についての関係が深まり判った。
- ・子供の頃から自然豊かな森を見ているからです。
- ・2回目の参加です。前回大雨で一部説明が不足でしたので、再度聞けて良かったです。
- ・あまり話しが分からなかったけど、だいたいは分かったから。
- ・緑のダムをたくさん作りたいです。
- ・森づくりについて家族で話し合う機会増えて、コミュニケーションも上手くとれた。
- ・混植という考えを初めて知った。
- ・ゆたかな森で水を多く出してくれるように願っています。
- ・人間を含めた生物の生態系の保守を、森を愛する人達が先頭に立ってこれからは活動したらよいかと思いました。
- ・人間は自然がなくては生きていけません。自然を大切に共生して生活していきたいと思います。
- ・参加してみて多くの人が興味をもっていることに感心しました。
- ・自分自身の手で木を植えることで、これから森が育っていくんだなってうれしく思ったから。
- ・自分の手で、生まれて初めて木を植える体験をしました。具体的に体を動かしてひとつでも前へ進む事の大切さを感じ、自分も行動していこうというきっかけになりました。
- ・参加するたびに感じさせられる思いが強い思いでいます。
- ・最近特に水についての大切さが解るようになった。
- ・小さな力でもまとまると大きいと感じました。
- ・自身で実践したため。
- ・自然を戻す事が少しでも出来ました。有難うございました。
- ・神谷先生の話から。
- ・自然の大切な事。



2. 今後とも、こうした取り組みに参加したいですか。

① 参加したい 52名 ② 参加したくない 2名

〔理由〕

- ・緑の中で自然に触れ、自然に帰れる気持ちが出て元気になれるから。
- ・森が好きだから。
- ・大と緑を大切にしたい。
- ・自分が植えた木が大きく育つ様子を思い浮かべると楽しくなるから。森林は気持ちよい。
- ・体力が続く限り参加したいと思います。
- ・継続することに意味があるから。
- ・継続は力！この広大な森林の再生は並大抵のことでできる訳がない。1人でも多くの皆さんの参加を得て発展させなければなりません。自然を愛して山を愛することが必要です。
- ・外国(新興国)に森を買われるなんて腹が立ちます。水は基本、守りたい。
- ・木のありがたみが分かって、また木の苗を植えたいから。
- ・微力ではありますが、子孫のために役立ちたいと思います。69才ですが、元気で参加できますように頑張ります。
- ・機会があればその都度参加したいと思う。
- ・森をあらさないようにしたいから。
- ・自然とのふれあい、人とのふれあいから人間性が豊かになるとつくづく感じました。
- ・自然の中で大変気分が良くなった。
- ・山の介護に努めたい。
- ・出来ない事はできないけれど、できることはやってみよう！まずはやってみる事が大事だと思うので。
- ・年に1回程なら参加する。
- ・楽しかったです。緑にかこまれ汗を流す機会が得られたことと、ウグイスも鳴いて舞台装置よかった。
- ・深緑の中で楽しいから。
- ・自然の大切さを維持すること。
- ・少しでも役に立てられたこと。
- ・もっと知りたいから。



3. その他、自由にご意見やご感想をお聞かせ下さい。

- ・森がなくなったら生物も生きられなくなる。蚊、明の源なり。
- ・今回の震災で日本国民がこの国で生きる価値観を考え直し、国民の心のまとまりを原点戻す「リセット」をしなければならぬと感じます。日本の国の原点は恵まれた自然です。森作りを通して物事を考えると、その心のまとまりが分かりやすいような気がします。
- ・年齢的にむずかしいかな？(参加するだけ)木を植えたり作業が出来ないかも。
- ・ソーラー発電の事については少し行政の考え方に違和感をもっています。
- ・時間が合えば今後も参加させていただきます。別ですが、水源を大切にすることは人間の源である為、大いに進めて下さい。
- ・植樹場所が非常に良い所であった。楽しかった。
- ・さぞ準備が大変だったことと思います。バス車中の窓からふじの花の見事、深まる緑の美しさ、お昼の汁や五平餅ら食させていただき感激です。
- ・今日明日の問題でない事、小学校の頃から強制的に子供に教育する。
- ・植樹の後に混植、バイオ苗、神谷先生の環境、遺伝子資源のお話を聞いたり、学校に行ってる時以降の学習の時間があつたりと、とても有意義な時間を過ごしました。又、こんなに大勢(102名参加)の方が、植樹に参加され、おどろきました。
- ・次回も参加したいです。



- ・今後も参加したいので連絡下さい。
- ・これからもぜひ参加させて下さい。スタッフの皆様は大変ご苦勞様です。この会が益々大きくなって行くことを祈念します。ありがとうございました。
- ・中国の人達に山を売らないでほしいです。
- ・大変すばらしい事ですのでこれからも参加します。
- ・森も好き、その自分も好き、だから参加させて下さい。
- ・すごく大切な事を行っているんだと思います。もっと広めて日本中の里山を再生出来る様頑張ってください。
- ・とても貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。私たちが植えたあの小さな苗が大きくなることを想像すると、わくわく、うれしくなります！また参加したいです！！
- ・広葉樹を植える必要性を説明してほしい。
- ・作業の下準備と暖かい食事をありがとうございます。
- ・地道に続ける事が重要と思う。ぜひ続けて欲しい。
- ・今迄森林、水、とかあまり関心がありませんでしたが植樹祭に参加する事によって本当に森と水との関係がわかりだしてきました。孫達の為にも良い環境を考えなくてはならないと思います。いつも森を守る会の皆様にはお世話になって居ります。
- ・子供も来るから子供用に何かやって。(いなぐまひろき)
- ・植樹祭のご案内をいただき、ありがとうございます。植樹しか協力できていなくて恐縮です。本日も楽しく参加させていただきました。岡崎市 大島 務
- ・毎年参加させていただいています。神谷先生のお話も沢山聞きたいです。勉強になりました。
- ・何回か参加させてもらって、山の大切さや、水の大切さを参加するごとに強く思うようになりました。
- ・スタッフの皆さんありがとうございました。
- ・久しぶりに山の中での生活が体験でき楽しかった。



取得した山林を水源の森に

～巻き枯らし間伐で林層転換！～

これまで間伐と植樹 これまで私たちは、設楽町西川と新城市作手において放置林となったスギ・ヒノキを伐採し、広葉樹を植えてきました。土地本来の木を植えることによってできるだけ早い段階に、保水力抜群の生態系豊かな水源の森に転換したいからです。

巻き枯らし間伐 これまでは、皆さんの熱い思いによりここまで続けてきましたが、危険の伴う作業で手間もかかりました。設楽町大字西納庫字下山で取得した 18,000 m² の山林は、スギ・ヒノキの放置林で市街地から遠距離にあります。ここでは、巻き枯らし間伐という方法を取り、植樹はしません。太陽の光が差し込めば広葉樹が自然に芽生え、成長し水源の森となります。時間はかかりますが、今私たちが急いで行わなければならないのは放置林の間伐を優先して、できるだけ早く光を入れることです。

現地で学習会 7月24日(日)には、広島大学教授の中根周歩先生を現地にご案内し、水源の森作りについて学びます。9月23日には、デンソー株式会社の地域貢献事業として、デンソー社員の皆さんと一緒に巻き枯らし間伐と記念植樹を行います。水源の形が分かるように、ブナ、ミズナラなど土地本来の木を20本ほど植えます。新しい試みです、是非ご参加ください。

巻き枯らし間伐について

【目的】 手入れが不十分なスギ・ヒノキの人工林が多くなっており、間伐を実施することが必要ですが、従来の間伐方法では経費がかかり、間伐が進まない状況にあります。そこで、作業が安全で簡単な巻き枯らし間伐の方法が行われるようになりました。

【方法】 巻き枯らし間伐の方法は、ノコで外皮周囲を深さ約1cm、上下幅約20cmほど切り込み、マイナスドライバーを用いて剥皮します(写真参照)。



【秋の植樹祭 in 東浦町】のお知らせ

- 日時 平成23年10月9日(日) 10:00から小雨決行
- 場所 東浦町サンライズヒル・シーダーハウス周辺
- 参加費 800円、小学生400円、幼児無料(保険料、食事代等)
- バス 安城医師会館9:00発
バス2台、バス乗車定員50名
- 自家用車駐車場は石浜西小学校職員駐車場
- 申し込み 郵便局で9月25日までに下記に振り込んでください。
口座記号番号00870-7-113816
加入者名 特定非営利活動法人森を再生する会
- 主催 特定非営利活動法人森を再生する会



※ あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業の助成金で行います。

【秋の植樹祭 in 設楽町】のお知らせ

- 期日 平成23年9月23日(金) 秋分の日
- 場所 設楽町大字西納庫字下山17番40「納庫・水源の森」
- 内容 巻き枯らし、記念植樹、水源の森学習会、交流会
- 持ち物 のこぎり、マイナスイライバー、(大きいほうが良い)
- 参加費 800円、小学生400円、幼児無料(保険料、食事代等)
- 集合 安城歴史博物館駐車場8:00 発
乗車定員20名
- 申し込み 郵便局で9月16日までに下記に振り込んでください。

口座記号番号00870-7-113816

加入者名 特定非営利活動法人森を再生する会

- 主催 特定非営利活動法人森を再生する会

※株式会社テンソー社会貢献活動制度:DECOポン 地域還元事業の助成金で行います。



全原発廃止を！

神谷輝幸

福島第一原発の事故は、収まる気配が無いようです。今後被害は拡大し、放射能による死者が出るのが予想されます。原子力は安全どころか危険極まりないものであることが証明されました。広島、長崎に続いての放射能禍です。世界で初めての被爆国でありながら、なんと愚かしい道を歩んできたことでしょう。

菅総理が浜岡原発四号機、五号機の運転停止を中部電力に要請しました。ところが、中部電力は2~3年後には再稼動するとの回答です。政府は、全国で停止中の原発を再稼動するよう立地自治体に要請するといっています。なんと愚かしい選択でしょうか。



電力不足を心配する向きもありますが、安心・安全を考えたらこれ以上原発に頼りたくありません。電気を節約できることはいくらでもあります。この機会に各自が生活スタイルを見直し、省エネルギーの生活に改めたいものです。日本人が歩んできた自然に寄り添う生活に戻り、子孫が未来永劫安心して暮らせる国にするために。

東日本大震災からの復興に向けて

宮脇昭・畠山重篤両氏からのメッセージ

水源の森作りを進める私たちの師匠である宮脇昭、畠山重篤両氏が最近マスコミで東日本大震災からの復興に向けて、この災難をチャンスととらえ具体的な復興へのシナリオを提案をしておられます。

●宮脇昭先生は、瓦礫やヘドロを海岸に積み上げその上に植樹をして堤防とするというものです。死んだコンクリートの堤防から生きた樹林帯をつくり津波の対策をすると同時に緑環境を創出しようとするものです。瓦礫やヘドロも植物のにとっては栄養であり、廃棄物も宝の山として活用しようとするものです。その植樹祭には是非参加したいものです。

●畠山重篤さんは気仙沼で牡蠣養殖を営んでおられる傍ら山に木を植える運動を続けておられます。段戸での植樹祭に「森は海の恋人」の講演をしていただいておりますので、その消息が心配でしたが、畠山重篤さんの家は高台にあり、難を逃れることができたということです。住む家を失った人たちにはこの時こそスギ・ヒノキを伐採して使い、広葉樹の山に変えるチャンスだと畠山重篤さんは提案されます。これから、そのための仕組みづくりに動きたいと語っておられました。

両先生の自然を取り戻したいというこれらの構想が具体的に進めば、日本の未来も明るくなるはずです。自然に生かされている私たちの生きる方向を正しく教えていただいているメッセージです。

☆本年度 NPO森を再生する会へ寄付をいただいた方々☆

(寄付受付日付順)

○ 遠山松枝 様	20,000円
○ 田中 厚 様	8,000円
○ 神谷俊治 様	10,000円

過分なるご寄付をいただきまして誠にありがとうございます。
これもひとえに会の活動をご理解いただいていることと、身にあまる光栄に存じます。今後水源の森作りに役立たせていきたいと思っております。